

香大っこサポーター活動報告会&託児体験追加実習報告書

日時：平成25年10月1日(火) 10:00~14:00 場所：北3号館1階313教室

参加者：託児サポーター9名（男性：1名 女性：8名／教育学部5名・法学部3名・経済学部1名）

10月1日に香大っこサポーター活動報告会と託児体験追加実習を実施しました。

香大っこサポーター活動報告会では「香大っこサポーター養成講座」、「託児体験実習」、「児童サマースクール」、「学会個別託児」で活動したサポーターから報告があり、託児を初めて体験したサポーターは「はじめはどうか接していいかわからなかったが、時間をかけて接していくうちにだんだん仲良くなって楽しく過ごしました」と感想を述べていました。サポーターの報告からは戸惑いながらも子どもたちと積極的にかかわる様子が伺えました。お子さんを預けた保護者から「1対1で遊んでくれて、子どもにとって濃厚なとても楽しい時間だったようです」との感想があったと託児ボランティアあゆみの代表 梶ヶ谷さんから教えていただき、サポーターたちは喜びの笑みを浮かべていました。梶ヶ谷さんはそれぞれの活動に対してご助言をしてくださり、特に泣いている赤ちゃんを辛抱強くあやしていたサポーターの根気強さに感心されていました。

今回の託児体験実習は2回目で、前回と同様、国分寺子育て広場「ぶんぶん」を利用する保護者の方々にご協力いただき、6か月から2歳までの6名の乳幼児が香大っこサポーターの託児を実際に体験しました。

お子さんを預かる前に梶ヶ谷さんからアレルギーの有無や注意をしておきたい点など丁寧にご指導いただき、全員で情報を共有しました。

保護者からお預かりするときは、やや緊張した面持ちでしたが、前回の託児体験実習に参加したサポーターが主体となって保護者からの預かりをスムーズに行っていました。

お母さんたちが部屋から出ていくと空気が一変。後追いで泣き出す赤ちゃん、ハイハイしてたくさんのおもちゃに目移りする赤ちゃん、机の下に隠れて出てこないお子さんなど、サポーターたちは困惑した表情を見せながらも、子どもたちと楽しい時間を過ごそうと頑張っていました。

お昼の時間には離乳食を食べさせたり、いっしょにお弁当を広げ子どもたちとご飯を食べました。そして、お昼ごはんの後はだっこしながら上手に寝かしつけていました。

託児終了後はお母さん方を交えて託児の報告を行いました。お母さん方から「娘の泣き顔を見て教室を後にしたので、ランチ中も娘の事が気になるかと思ったのですが、意外とそんな事もなく、忘れるとまではいきませんが、しっかりママランチ会を楽しむ事が出来ました。じっくり会話に集中出来ましたし、ママ同士の絆も深まったように思います」、「1回目の託児参加のときはやっぱりずっと気になって、頭から離れなかったのですが、1回目のときよくしていただいて、2回目は少し安心して、忘れていた時間が長くなったような気がします」などの感想があり、少しの間だけ子育てから解放され、リフレッシュした様子でお子さんたちを迎えていました。

頑張ったサポーターの皆さん、この託児体験を生かして休日出勤時の託児、短時間の預かりでのご活躍を期待しています。



預かる子どもの情報を共有



ランチタイム



お母さん方を交えて託児の報告